

健康と光線

天からの贈物

本紙がお手元に届く頃、日本の春の風物の桜の開花前線は北上中の真つ盛りで、春の息吹を満喫していただろうと思います。春の優しい日ざしは心地良く、日照時間は延び、外気温も過ごし易くなり、ますから、晴れの日に屋外に出て思い切り春の日ざしを楽しめば、元氣もあり、晴れ晴れとした気分になります。春は生き物を支える食物連鎖の起点になる植物の光合成が盛んになる季節でもあります。孟子は春には耕を省みて不足を補つと書き残していますが、日ざしが増すこの季節に人も山里も息を吹き返すのです。日本の春の日ざしは、私たちに驚くほど多くの恩恵をもたらす天からの贈物です。経験的にこの恩恵を推し量った日本人の太陽に

対する特別な思い入れが、天照大神を太陽神にし、日本の国旗のモチーフが太陽をかたどった日の丸になったと思われるのです。

回春の妙薬

回春は春が再び回ってくることですが、病気が治るという意味でも老人が若返るという意味でも使われます。

多くの人は冬の光線不足の健康に及ぼす悪影響をそれほど意識していないと思いますが、回春という言葉が表すように健康面で不利になっているのです。

春の日ざしで生成量が増すビタミンDで例示すれば、高齢になるほどビタミンD生成能が低

春の日ざしは天からの贈物

驚くほど多くの恩恵

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

けでなく、あらゆる機能を阻害し、アレルギー性疾患や生活習慣病の危険因子になることはこれまで繰り返した。この冬の間のビタミンDの不足を再び回ってきた春の日ざしを浴びて解消することこそが、回春の妙薬なのであり、健

季節性うつ病

季節性うつ病は冬季うつ病とも呼ばれる病気ですが、日照時間が少ない時期に限って罹るうつ病です。すなわち冬が近づくと11月頃にはうつ病の症状が始め、冬に症状は重くなりますが、3月になると症状はだんだんと軽くなり、春から夏には回復します。このうつ病には抗うつ剤は

あまり効果がなく、太陽の光に当たるような光治療に効果がありません。

うつ病ではない人でも、

春の気配を感じ、春景色を観ると、気分が高揚すると思います。日照は24時間の体内時計をリセットするだけでなく、気分が大きく影響します。そのメカニズムは、目から光が入るとメラトニンの分泌を抑制して脳内神経伝達物質のセロトニンを増やす日

康を維持増進する秘訣なのです。

内リズムを調整する作用に加えて、副腎皮質ステロイドホルモンの分泌を促し、ストレスに対する抵抗力を高める作用によると考えられています。実際、うつ病は北国の人ほど罹り易く、南国の人はあまりうつ病になりません。また同一患者では、午前中の症状が重く、光に接する時間が延びる午後になると症状が軽くなる傾向があります。

サナモアは

太陽の使者

私たちだけでなく、ありとあらゆる生命体の生命現象に太陽光線は深く関わっています。しかし都市化した文明社会では、太陽光線に接する機会が激減しました。この太陽光線を何時でも屋内で享受できるのがサナモア光線療法です。自然界を支配している理法、太陽光線の恩恵を信じて、健康増進、虚弱体質の改善、病気の予防、急性疾患や慢性疾患の治療等々に幅広くお使い下さり、確かな効能を体感して頂きたいと願っています。

一病息災

一病息災

認知症

—アルツハイマー病と脳血管性認知症—

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

認知症とは

大脳は、目や耳、手や足から入る情報を瞬時のうちに分析、判断し、行動につなげる機能(認知機能)を担当していますが、その大脳の老化が元で、認知する機能に障害を生じ、社会的な生活力を失った状態が認知症です。

解剖学的に、大脳は表面から厚さ数mmの大脳皮質とその内部の大脳白質に分けられますが、大脳皮質には、たくさん神経細胞が集まり、大脳白質は、その神経細胞から出る神経線維の束からなっています。この皮質の部分の障害で起こる認知症が、アルツハイマー病やレビー小体型認知症で、病変の中心が白質にあるものが脳血管性認知症です。ただ、どちらにしても、分析、判断、行動、記憶などに関係する神経ネットワークが壊されているため、社会的生活力が失われ、独居は困難となります。

このように一口で認知症と言っても原因は様々で、原因疾患の5割強がアルツハイマー病で、

1割から2割ずつをレビー小体型認知症と脳血管性認知症が占めています。また、認知症になった方の有病率は年代別に見ると、加齢に伴い上昇しており、特に75歳以上で急増していることが分かります。年齢が5歳上がるごとに、認知症の有病率は倍増すると言われていることから、認知症にとっての最大の危険因子は年齢と言えるわけです。

認知症の成因

アルツハイマー病は約100年前にドイツの医師アロイス・アルツハイマーにより報告されましたが、この時、亡くなった人の脳の顕微鏡所見から、原因として、老人斑と神経原線維変化の存在を指摘しました。その後、の研究で1980年代には、老人斑がベータ(β)タンパクというゴミのような物が異常に蓄積した塊であること、神経原線維変化はタウ(τ)タンパクが神経細胞の中に異常に蓄積した塊であることが明らかにされました。

このβタンパクは、神経細胞が産生して周囲に放出していま

すが、通常は、酵素の働きによって、すぐに分解され消失してしまいます。ところが、40歳を過ぎた頃から、βタンパクが分解されきれず、神経細胞の周囲に溜まるようになり、数年かけて蓄積が続いた結果、今度は神経細胞内に多量のβタンパクが溜まり、神経細胞の機能が失われてしまいます。このような病変が、脳内に多発して神経のネットワークに支障をきたすとアルツハイマー病を発症することになるのです。近年、もっぱら、これらの異常タンパクの蓄積を防ぐ方法の研究が進められていますが、もしも、蓄積を防ぐことができたなら、治療法や予防法の確立につながるかもしれません。

これに対して、脳血管性認知症は、動脈硬化の進行に伴う脳血流の低下が主な原因で起こる認知症です。脳の動脈は大脳の表面を本管が走り、脳の深部に向かって、次々と細い枝を出すように作られているため、血液供給の面から考えると、本管から遠い大脳白質は不利な状況にあることが分かります。つま

り、脳血管性認知症は、動脈硬化が原因で脳内を循環する血流量が減少した結果、大脳白質の神経ネットワークの崩壊が進み引き起こされる訳で、予防としては、動脈硬化をきたしにくい生活習慣が大切と言えるでしょう。

病気と光線療法

高齢化によって認知症の患者は確実に増えていますが、実際には、アルツハイマー病や脳血管性認知症が混在する場合が多く見られます。サナモアで全身の血液循環を良好に保ち、脳の血流量を増やすことは、脳の神経細胞の賦活化や神経ネットワークの活性化につながります。また、光線療法により皮膚で産生されたビタミンDは、神経の再生を促す作用を有しており、遮断された神経ネットワークの再構築に寄与すると考えられます。

このような観点から、サナモア光線療法は、認知症の予防から治療に至るまで、広い範囲で役立つと考えていますので、是非、お試し下さい。

サ/ナ/モ/ア/便/り



vol.37 宇都宮 正範

第十四期

サナモア光線治療師

養成講座のお知らせ

前号でお知らせしましたように、今年度も、第十四期サナモア光線治療師養成講座を東京にて開講します。光線治療院の開業を検討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、是非、ご連絡

開 講 日 程

7月2日(木)・3日(金)・4日(土)

講 座 内 容

医学総論・関係法規

サナモア光線療法の基礎と生物学的作用

光線治療器のメンテナンス法

ルーフ式・マルチアーク療法の実践

開院のための準備

ください。なお、詳細につきましては、サナモア光線治療院(〇三―五七五九―三三二〇)までお問い合わせの程、お願い申し上げます。

第三十回

「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治験例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時：四月十八日(土)

午後二時三〇分

場 所：サナモア光線治療院

三階会議室

治療院&

治療師紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介します。

矢嶋治療院

矢嶋 利美先生

(第十二期生)

電話：〇三―三六〇七―〇七四六

住所：東京都葛飾区高砂

八十八―十

交通：京成高砂駅から徒歩六分

一言：東京の下町、葛飾柴又帝

釈天の近くで、田舎の風情を思

わせる静かな町にサナモア光線

療法を取り入れた治療院を開き

三十五年になります。

約四十年前、主人と共に医療

の勉強を始めた際、最初に目に留まった本が赤い表紙の「光線



矢嶋 利美先生

療法学」で、本屋の片隅での出会いました。早速、半ば強引に、

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

宇都宮義真先生をお尋ねしたところ、先生の治療に対する姿勢に感動するとともに、光線治療器に一目惚れしてしまい、購入致しました。自ら光線療法を体験しながら、他の治療法も学び、患者さんの治療にまい進してきましたが、改めて自然治癒力の大切さを感じたため、一昨年、サナモア光線治療師養成講座の門を叩かせて頂きました。

これから、一人の人間として、心と体の病の治療ができる治療師を目指して頑張りたいと思います。

治
験
例
報
告

サナモアで骨折が

疑われた腕を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

TEL 078-333-1135

症例 12歳 男性 中学生

症状 放課後、体育館で友人達とふざけ、揉み合っているうちに転倒し、左前腕を強打した。保健室では、骨折が疑われたため、副木を当ててもらい、家に帰った。専門医に診てもらおうと言われた。自宅で安静にして様子をみていたが、母親が帰宅した時には、前腕の腫れが広がり、痛みも強くなっていた。母親は、十数年前、弟が複雑骨折した際、整形外科の治療で経過が思わしくなかった折、友人の勧めで始めたサナモア光線療法で、見る見るうちに快方に向かっていた様子を目の当たりにしていたため、サナモアで治療しようと考え、電話にて照射方法を尋ねられた。

療法経過 治療はBCカーボンで、患部である左前腕を60分、

ABカーボンで、腹部と腰部を各10分、温かいと感じる距離での照射を指示。翌日は日曜のため、朝、昼、晩と三回、患部を30分以上、必ず照射するよう指導した。月曜の午前中に、近くの外科医院を受診。「一昨日骨折したにしては随分と回復が早いです。普通なら、治るのに一週間はかかるころですが、若いから、治療力が高いのでしょう。」と話され、経過観察することになったと報告を受けたので、患部に対しては、一日30分の照射をしばらく続けるよう指示した。その後の経過は順調で、現在はバレーボールの選手として活躍している。

治
験
例
報
告

甲狀腺癌の手術前後を

サナモアで治療

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏報告

TEL 092-581-0393
五七二一五七三

症例 60歳 女性

症状 約20年前、健診にて甲状腺の腫れを指摘され、手術を勧められたが、自覚症状もなく放置していた。最近、呼吸がしにくく、息苦しく感じるようになったため病院を受診したところ、甲状腺が腫れて気管を圧迫して

いることが原因であり、手術して切除した方がよいと説明を受けた。しかし、ご本人は、手術に前向きになれず、サナモアを試したいと言って来所した。

療法経過 治療はBDカーボンを使用。集光器を用いて、前頸部甲状腺(20〜30分の照射を一

サナモアカーボンの

類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株) 東京光線療法研究所

日に何度でも行うこと。またAカーボンで、後頭部、足裏、膝、腰部、背部、腹部を20分ずつ照射するよう指導。二週間後の電話連絡では、やはり呼吸が苦しいので、甲状腺の手術を受けることになったとの報告であったため、術後の経過のことも考えたため、手術前後でのサナモアを継

続するように指導した。一か月後の経過報告では、左甲状腺に大きな癌があり切除したが、転移は認めず、右甲状腺の結節は今回切除しなかったとのこと。本人はサナモアを続けていたおかげで、術後の経過は大変良好で、消化器系の症状までも良くなったと喜んでいました。

治験例報告

甲状腺結節病変に対する

サナモア治療経験

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

TEL 047-731-5067

症例 49歳 主婦

症状 平成18年10月に子宮頸癌の手術を受けた後、知人の紹介で来院。当院でサナモア光線療法を開始し、術後の経過は良好であった。平成20年8月、病院の検査で、左右の甲状腺に結節があると診断され、手術治療も示唆されたが、もう少し様子を見たいと考え、当院にて甲状腺に対する治療を開始。

療法経過 治療はBDカーボンで、四台の治療器を用い、全身照射で行った。前頸部(甲状腺)の照射には集光器を使用。最初、側臥位にて、顔面10分、腰臀部30分、前頸部30分、膝15分照射後、腹部と後頭部と足裏を15分照射。次に仰臥位として、左頸部甲状腺を30分、右側腹部と左膝側面を30分照射。さらに、

右頸部(甲状腺)を30分、左側腹部と右膝側面30分の照射を施行した。治療を開始して二か月後に、病院で甲状腺の組織検査を受けたところ、良性と診断。現在は、自宅でも健康法としてサナモアを愛用している。

治験例報告

糖尿病患者の血糖値に対する

サナモアの効果

大阪府箕面市 ドレナーシュ光線治療院

猪口 清美氏報告

TEL 07-7700-8880

症例 42歳 男性
症状 若い頃から、肉食が中心で飲酒量も多く、週に四、五日は外食で、真夜中に食事を摂取することも頻繁であった。この

ような生活習慣の悪さから、35歳の時に拡張型心筋症で入院。一命は取り留めたが、退院後は体調が思わしくない状態が続いており、病院を受診したところ、

「はつらつさん」に愛用者に安全対策のお願い

平素は「サナモア」をご愛用いただきありがとうございます。

さて「サナモア」をお使いいただく際、取扱説明書の注意事項を参考にして安全管理にはご注意くださいと存じますが、火災、火傷には特段のご注意をお願いいたします。

ところで平成17年4月に薬事法が改正され、医療機器の安全性の向上と市販後の安全性の管理が厳しく求められました。これを受けて「はつらつさん」の製造元の(株)イビデンケミカルと発売元の弊社は安全性を高める観点からさまざまな検討を行い、対策を協議して参りましたが、安全にご使用いただくため、次の二点について自主的に対応することになりました。

- ①照射器前面の網の網目を細かくする。
- ②照射器を水平から下方に向かないようにする。

「はつらつさん」の改良にご協力いただく場合、弊社にお知らせください。尚、あくまでも自主的な対応で強制するものではなく、また(株)イビデンケミカルに修理依頼した時にも対応できることを申し添えます。

(株)東京光線療法研究所

代表取締役 宇都宮光明

血液検査で血糖値が300もあり、糖尿病と診断された。

療法経過 治療はBDカーボンを使用。三台の光線治療器を使用し、足裏、腹部、腰部、背部、頭部、顔面を順次に照射。この際、同時に、光線を照射していない部位には、リンパドレナーシュを施行した。初日の治療では、顔面黒褐色にて、眼球もうつろな状態であり、真夏の暑い時期にもかかわらず、約二時間の施術にて全く汗を流さなかつ

たが、治療後、顔色良好となり、気分も良くなったとのこと、早速、通院治療を開始。隔日で来所していたが、しばらくして、血糖値は110まで低下。この頃から、施術により汗が流れ出るようになる。その後、食事指導、腸内改善、フットケア等の指導を行い、肥満度も改善し、現在は、とても体調が良く、週に三回、ゴルフ練習に通っており、体調を崩した時、治療に來られる。

サナモア 光線療法 愛用者の声



サナモアといつも

一緒に元気で

熊本県 徳永 良隆様

つい最近のことですが、主人(89歳)がお風呂場で転倒し、胸部を強く打ち、肋骨を骨折してしまいました。この際、皮下にどす黒い出血が広がり、少しびっくりました。ACカーボンで照射して様子を見たところ、きれいに引いてしまい、今度はサナモアの効果に驚かされました。痛みもすべにとれたため、

今ではいつもと変わらず元気にしております。

私は80歳ですが、ほとんど病院には行ったことがありません。いつも困った時にはサナモアのお世話になっており、かれこれもう三十年近くが経ちました。時には、指導書を読むこともありますが、主人も、日々、腰、足など、自分でできる範囲を中心に照射しています。

若い時には、サナモアを邪魔に感じることもありましたが、今は私たちのすぐ側にサナモアを置いていて、いつも一緒に元気に過ごしています。子供たち四人もそれぞれサナモアを持っており、元気に頑張っています。

まるでサナモアは

私のペットのようです

大阪府 中本 昭美様

いつもありがとう存じます。サナモアに出会ってから、おおよそ百日になりますが、感謝感謝

の毎日です。ストレスから体調を

崩し、胃にポリプ、膵臓に水疱を認め、隣接するリンパ節が腫れたり、他の部位のリンパ節にも腫れが見られたため、サナモアで全身の照射を行いました。治療を開始してから体調が良く、現在は、毎日三回行っていた照射が、二回、一回に減り、とてもありがたく思っています。

今ではサナモアは私のペットのような存在で、可愛く、感謝して、毎日使わせて頂いております。これからも治療を続けるつもりでいます。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものではありません。ついでに体験記をお送りください。ますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL (03) 三七九三―五二八―
三七二―五三三―

(本紙の無断転用を禁止します。)